

授業科目 臨床実習 I (検査・測定)

【担当教員名】 粟生田 博子 他	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	3	時間数	135
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】				
<p>&lt;概要&gt;</p> <p>病院・施設見学を行い、理学療法士の職場環境を理解する。また、臨床実習指導者の管理下において患者様や施設利用者の方に検査・測定を実施する。</p> <p>&lt;一般目標&gt;</p> <p>患者様やご家族、病院・施設職員などに接する際の基本的態度を理解し、実践することにより、将来理学療法士となるための資質を研鑽する。</p> <p>学内で習得した知識・技術をもとに患者様・施設利用者の方の協力を得て検査・測定を実施し、病態を把握する。</p>				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健・医療・福祉の分野の連携を理解する。</li> <li>2. 病院や施設における理学療法士の役割や他職種との関係を学び、理解する。</li> <li>3. 職業倫理を学び、対象者の方の状況に配慮した適切な基本的態度を実践できる。</li> <li>4. 学内で習得した理学療法の基本的知識や評価手技を対象者に即して実施し、その結果に基づいて身体状況を推察することができる。</li> <li>5. 実習した内容を適切に記録し、まとめを報告することができる。</li> </ol>				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	実習前オリエンテーション	1-3	講義及び演習を含む、担当：粟生田 博子 他	
2	グループワーク	1-5	講義及び演習を含む、担当：粟生田 博子 他	
3	学内演習	1-5	講義および演習を含む	
4	各施設での見学実習	1-5	各施設臨床実習指導者、担当：粟生田 博子 他	
5	学内面接実習	1-5	講義および演習を含む、担当：粟生田 博子 他	
6	各施設での検査・測定実習	1-5	各施設臨床実習指導者	
7	実習後セミナー（実習のまとめと発表）	1-5	学科全教員	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	概説理学療法	嶋田智明（編）	文光堂	2009・5,000円＋税
	臨床実習とケーススタディ	鶴見隆正（編）	医学書院	2007・4,700円＋税
その他の資料	臨床実習の手引き	学科作成資料(オリエンテーション時に配布)		
【評価方法】		【履修上の留意点】		
出欠、グループワーク、面接実習、セミナー発表、レポート提出および臨床実習状況を総合的に評価する。		臨床実習 I の履修基準を確認すること。		